

事務事業名	小中学生におけるプログラミング教育の推進事業
いただいた意見	<p>プログラミング教育は大いに結構だと思いますが、同じ教育委員会の掲げる「かがっ子ノー携帯・ノースマホ運動」との整合性はどのように図るおつもりでしょうか。</p> <p>どちらも子供が用いる電子機器でありながら、一方でプログラミング教育のために学校へのタブレットパソコン配置を税金を用いて進め、他方で親が自費で購入するスマートフォンの所持・利用を制限するというのはどういった政策理念に基づく行為なのでしょうか。</p> <p>プログラミングについて、ウェブ上に無料で活用できる有用な教材が溢れていることやスマートフォンのアプリを用いても十分に勉強が可能であるということを事業実施者はご存じないのでしょうか。そのあたりの考えを整理すれば購入教材の数量を精査するどころか教材購入を行わなくても済むのではないかと思います。</p> <p>また、そもそも論として、市長や副市長、教育長、教育委員の皆さんはご自身でプログラムを組まれたことはおありなのでしょうか。もし、お試し体験以上の経験がないとすると、何をもって学習指導要領の実施に先がけたプログラミング教育が必要だと考えるに至ったのでしょうか。</p>
市の考え方	<p>「かがっ子ノー携帯・ノースマホ運動」は、青少年健全育成が目的で、携帯電話やスマートフォンなどの使用に伴うトラブルや、非行被害、いじめ、犯罪、依存症などから子どもたちを守るための運動です。</p> <p>プログラミング教育は、第4次産業革命やグローバル化に対応するための人材を育成する目的であり、「かがっ子ノー携帯・ノースマホ運動」とプログラミング教育は、それぞれ目的が異なるものであります。</p> <p>また、学習指導要領が求めるプログラミング教育は、プログラムを組むといった、コーディング等のスキルを育成するのではなく、以下の3点を主な目的としております。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 身近な生活でコンピュータが活用されていることに気付かせる。 2. 問題の解決に必要な手順があることを教え、論理的思考を身に付ける。 3. 各教科で育まれる思考力を基盤としながら、基礎的な「プログラミング的思考」を身に付けること。 <p>こうした考え方を身に付けることにより、わからない問題を解いていく楽しみが生まれ、勉強へのやる気を高め、児童生徒の将来の選択肢を広げることに繋がります。</p> <p>市では、こうした人材を育成するために、全国に先駆けてプログラミング教育に取り組んでおり、また、指導者の育成も急務であることから、数多くの教員研修も数年前から行っております。</p> <p>授業においては、タブレットやパソコンを使用したり、プログラミングしたものでロボットを動かしたりするなど幅広い活動が必要であり、ウェブ上の無料アプリのみの学習だけでは、プログラミング教育の目的を果たすことは困難であると考えております。</p> <p>※プログラミング的思考とは、目的を達成するために物事を順序立てて考え、結論を導き出していき、それを計画的に実行する考え方です。</p>